



環びわ湖大学・地域コンソーシアム

大学地域連携課題解決支援事業 2022

募 集 案 内

□活動提案の募集対象自治体

滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市

□募集期間

2022(令和4)年1月7日(金)～2022(令和4)年2月18日(金)
16時必着

□支援(助成)期間

2022(令和4)年4月～2023(令和5)年3月

<問合せ先・応募先>

一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム

〒520-0056 大津市末広町 1-1 日本生命大津ビル4階

E-mail : info@kanbiwa.jp

TEL : 077-526-8850 FAX : 077-526-8851

□大学地域連携課題解決支援事業について

環びわ湖大学・地域コンソーシアムでは、滋賀県内に立地する大学の持つ多様な知的資源の地域への還元を促進するとともに、県内 14 大学等に通学する約 3 万 5 千人の学生が、地域課題の解決に貢献し、それを通して、滋賀の人々や生活文化、風景、産品などの魅力に出会い、交流を深めることで、滋賀に愛着を持っていただくことを目指し、平成 24 年度から活動支援を行っています。

当該事業の事業計画および取組期間については、2 年間を標準（短期大学においては 1 年未満での事業も応募可能）としており、また、大学の知的資源、シーズ等の提案と各自治体の地域課題とのマッチングを事前に済ませた取組提案の募集としていますので、新年度 4 月からの活動がよりスムーズに進められる事業となっています。

□活動提案

コンソーシアムに加盟する自治体（滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市）における地域の課題（**滋賀県については、加盟自治体 6 市のエリアを含む課題**）解決に向けた、地域住民と大学等のゼミ等と連携した提案（教育研究、地域活動等の取組）を募集します。**提案事業については、加盟自治体の総合計画等の施策に照らし合わせ、自治体と連携した活動とし、主に学部学生が主体となって活動する取組とします。**

本コンソーシアムは「持続可能な開発目標に向けて」と題する第 3 ステージ宣言を行い、SDGs の達成を大きな共通目標として、これまで以上に多様で新しい連携・協働を進め、実り多い成果を積み重ね、滋賀の地域の発展に貢献していくことを表明しました。**本事業においても、SDGs の達成に向けた取組として活動していきます。**

新規事業については、**取組期間は標準 2 年間（1 年間の取り組みでも可、また、短期大学においては 1 年未満でも可）**とします。また各年度末に事業報告書（事業終了年度末には最終成果報告書〈公表〉）を提出するとともに、地域交流フェスタでの中間成果報告会（ポスターセッション含む）において、各年度の中間報告を行うものとします。

令和 3 年度から令和 4 年度に継続予定の事業については、令和 3 年度の事業計画・取組を踏まえた取組事業内容の申請が必要です。

（別表 1 は令和 3 年度に採択された大学地域連携課題解決支援事業の一覧です。No. 1 ～ No. 7 は令和 3 年度で終了する事業、No. 8 ～ No. 19 は令和 3 年度から開始した事業です。）

地方創生にふさわしい地域住民主体の地域課題解決への貢献、U・I ターンを含めた地域人材育成・若者地域定着の期待に応える大学のゼミや学生の活動などについて積極的な提案を期待します。

〔支援限度額、件数〕：実施年度あたり支援額上限 15 万円とし、新規・継続事業を合わせた採択件数に応じて予算総額内で支援額を調整の上、決定いたします。

〔対象経費〕：消耗品費、旅費、印刷費、通信運搬費、役務費など(人件費は含まない)

□応募対象者

提案は、大学関係者（教職員、学生）、自治体・地域関係者のいずれも応募できますが、提案者が地域関係者で自治体以外の場合は、各自治体の環びわ湖大学・地域コンソーシアム窓口担当者を通して応募して下さい。また、他の機関から助成を受けている取組は応募対象外となりますので気をつけて下さい。

提案者は活動の中核となる者とし、事業の管理・運営に責任を持って行う者とします。ただし、助成金の執行は、大学関係者（教職員のみ）に行って頂きます。

□支援事業の選定方法

提案の審査は、環びわ湖大学・地域コンソーシアムの大学地域連携課題解決支援事業選考委員会において選定します。

〔審査の評価基準〕

1. 必要性（課題の背景・課題の明確さ、目標設定のユニークさ等）
2. 計画性や具体性（課題解決の手法、取組スケジュールの具体性等）
3. 地域性（地域の特性や独自性が活かされた取組、地域住民との協働等）
4. 発展性（地域や大学教育等の活性化へ効果、継続性等）
5. 適切性（取組の実施体制、助成金の管理体制等）
6. 以上の他、活動テーマや取組大学のバランス等を考慮して選定します。

□申請方法

次により必要書類を電子メールで提出して下さい。

【提出期限】2022年2月18日（金）16時必着

【提出書類】別紙（様式1）「活動提案書」 ※参考資料の添付可

【提出先】一般社団法人 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局

<問合せ先・応募先>一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム

〒520-0056 大津市末広町 1-1 日本生命大津ビル4階

E-mail : info@kanbiwa.jp TEL : 077-526-8850 FAX : 077-526-8851

□採択・事業実施スケジュール

2022年1月7日～2022年2月18日 提案募集期間

各自治体の地域課題・取組テーマと大学等の知的資源、学生活動のマッチングにより、活動提案書を作成し、応募

2022年3月上旬 令和4年度提案事業の選考委員会

2022年3月下旬 提案事業の内定のお知らせ

2022年4月 令和4年度提案事業の助成決定通知、助成金の支払い請求、提案事業の実践

2022年11～12月 「大学地域交流フェスタ」に参加、成果（経過）の中間報告

2023年3月中旬 事業報告書（2年目は最終成果報告書）、収支報告書の提出

<別表1> 令和3年度に採択された大学地域連携課題解決支援事業の一覧

No	自治体	大学	取組テーマ	助成額 (円)	R4年度 応募可否
1	滋賀県	びわこ学院大学	大学生による子どもたちへの性犯罪予防のSNSの使い方啓発活動 ～S(スマート)にN(ネット)を使えばS(スマイル)に～	100,000	×
2	大津市	びわこ学院大学	就学前児童から科学の面白さを体感させる実験・ものづくりプロジェクト -大津市科学館「わくわくサイエンス」事業を活用して-	110,000	×
3	大津市	滋賀県立大学	「お弁当ラリー」を通じた「大津ナカマチSDGs 商店街」プロジェクト	128,000	×
4	東近江市	龍谷大学	地域活性化につながるモノ・コトの探求と吸引力の創出 (「市」を通じた地域の活性化—中山間の「位置」エネルギーを創出—)	129,000	×
5	甲賀市	立命館大学	朝宮茶の魅力を創造する旅 甲賀の茶(朝宮茶、土山茶)から発信する「すべての人に健康と福祉を(SDGs)」	138,000	×
6	甲賀市	立命館大学	国史跡紫香楽宮跡を活かした地域振興について	129,000	×
7	草津市	立命館大学	芦浦観音寺納豆再現プロジェクト	138,000	×
8	長浜市	滋賀大学	「サステイナビリティ・マップの創造」 一言で言えない風景×都市住民をひきつける空き家×地域コミュニティカ	129,000	○
9	彦根市	聖泉大学	十人十色プロジェクト (性の多様性を知ってもらおう!)	138,000	○
10	彦根市	滋賀県立大学	Explore Hikone!!～地域マップの多言語化を通して多文化共生をすすめよう～	150,000	○
11	滋賀県	龍谷大学	地域の笑顔をSNSで届ける —シニアボランティアのICTツール習得支援—	75,000	○
12	東近江市	びわこ学院大学	東近江市中心市街地活性化に関する実証的研究	129,000	○
13	東近江市	びわこ学院大学	子どもの手がたがたを用いたオリジナルグッズづくりを通して、楽しもう、知ろう、広めようオレンジリボン運動×SDGs	133,000	○
14	東近江市	びわこ学院大学	ポストコロナにおける大学生によるカナヅチ児童を対象とした水泳教室 ～運動介入による小大連携への模索～	133,000	○
15	東近江市	びわこリハビリテーション専門職大学	いきいき生活プロジェクト — 頭と体のリフレッシュ —	150,000	○
16	長浜市	長浜バイオ大学	びわ湖の森の生き物「トキノキ」の電顕画像を発信する	128,000	○
17	長浜市	長浜バイオ大学	河川再生プロジェクトと科学に対する学びの場の提供	124,000	○
18	草津市	龍谷大学	ARコンテンツを用いた草津の魅力発信	129,000	○
19	彦根市	滋賀大学	琵琶湖よ、自然に還れ“未来への遺産”	110,000	○